

2014年9月8-10日 光赤外線天文連絡会シンポジウム
国立天文台すばる解析棟大セミナー室

地上計画班中間報告 概要

土居 守
東京大学

地上計画班 班員

- 市川隆(東北大学) ... 南極望遠鏡
- 岩田生(国立天文台) ... すばる望遠鏡将来計画
- 岩室史英(京都大学) ... 岡山3.8m望遠鏡
- 柏川伸成(国立天文台) ... TMT
- 児玉忠恭(国立天文台) ... ULTIMATE-SUBARU
- 菅井肇(東京大学) ... すばるPFS
- 土居守(東京大学・班長) ... TAO
- 吉田道利(広島大学) ... SGMAP

これまでの活動

うちあわせ

2014年3月4日 16:00～17:00

初会合・目的やスケジュールの確認

すばる全体をみるため岩田氏にも入ってもらう

2014年4月上旬

各プロジェクトのサマリースライド用意

2014年8月29日 9:00-10:00

活動についての意見交換

光赤外地 上計画

- 大規模計画

TMT走り出す！

- 中規模計画

2012年に学術会議・GOPIRAのもと検討

いくつかの計画は予算部分的について進みだす

(PFS, TAO, 岡山3.8m)

当時出てきたばかりの計画(SGMAP)もあったが

新たな計画はでてきていない？

→現段階ではコミュニティー全体で優先順位検討より
互いの関係を整理、**全体のビジョンやシナジー**を
示すことが重要

整理の仕方

- すばる望遠鏡を中心にコミュニティーに広く提供される望遠鏡や観測装置 (TAO, 岡山3.8m含む)
国立天文台光赤外専門委員会でも検討中なので
連携をして検討を進める
 - 目的を絞った先鋭的計画
- 大型プロジェクト(スペース含む)との関係、互いの関係を中心に、重要なサイエンスをカバーできるように検討、まとめていく
- ☆大学間連携プログラムの発展？